

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター出土品DX事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化財保護センター 管理調整係

電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,623 千円 (前年度予算額： 3,480 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,480	3,480	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,623	0	0	0	0	0	0	0	8,623
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍の影響で、出前授業やサテライト展示など普及活用機会が減少している。そこで当センターが所蔵する貴重な埋蔵文化財をデジタル化し、公開することによって、コロナ禍でも多くの人々が文化財を活用できるようにする。また、博物館の常設展示などの事情で持ち出せない遺物について、作成したレプリカを活用することによって、貴重な埋蔵文化財を体感する機会とする。

(2) 事業内容

◎出土品の3Dデータ作成・インターネット上で発信

当センターが所蔵する特に重要な遺物の3Dデータを作成し、上下左右のいずれにも自由に操作しながら見ることができる映像を、文化伝承課のHP上(岐阜県文化財データベースWeb開設事業)で公開する。また、作成した3Dデータをもとにレプリカ2点を作成する。

(3) 県負担・補助率の考え方
県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	8,623	遺物3Dデータ作成費8,623千円(2点のレプリカ作成を含む)
合計	8,623	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

Ⅲ 各分野のDX 教育

◎アナログとデジタルを最適に組み合わせた「個別最適の学び」や「協働的な学び」の確立と、持続可能な岐阜県の創り手となる人材の育成

○ICTを活用した「ふるさと教育」、「協働的・探究的な学び(STEAM教育)」、「産業教育」の推進

Ⅲ 各分野のDX 文化

◎デジタル技術を活用した新たな文化芸術の公演・鑑賞スタイルを確立
(文化芸術へのアクセシビリティの向上)

○美術館・博物館・図書館等におけるデジタルコンテンツの充実

(2) 国・他県の状況

愛知県：愛知県埋蔵文化財センター

新潟県：長岡市政策企画課「縄文オープンソースプロジェクト」

熊本県：熊本県教育庁文化課

(3) 後年度の財政負担

5か年計画で3Dデータ100点作成(令和5年度は5か年計画の2年目)。

(4) 事業主体及びその妥当性

県：対象となる埋蔵文化財は県有であり、当センターが管理している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県が所蔵する埋蔵文化財を三次元計測によってデジタル化し、3DデータをHP上で公開することによって、これまでの普及活用事業だけでは対応できなかった多くの人々に対して文化財を活用できるようにする。また作成したレプリカを活用し、出前授業等で触れたりすることができるようにし、文化財への興味・関心を高める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①遺物3Dデータ 作成(点数)	0	0	2	18	100	20%
②遺物のレプリカ 作成(点数)	0	0	2	2	4	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>遺物2点の3Dデータとレプリカの作成を実施</p> <p>指標① 目標：2 実績：2 達成率：100%</p> <p>指標② 目標：2 実績：2 達成率：100%</p>
令和5年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	文科省のGIGAスクール構想などによって、学校教育で文化財のデジタルコンテンツの充実が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	令和4年度実施予定のため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	令和4年度実施予定のため。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 多くの人が3D映像に触れることによって、埋蔵文化財に興味・関心をもつ人を増やし、地域住民や県民全体でその価値を享受すること。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 積極的に広報活動を図り、学校教育の現場や各家庭において、より多くの人に県が所蔵する埋蔵文化財に興味を持つ機会を増やす。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	岐阜県文化財アーカイブ事業 岐阜県文化財データベースWeb開設事業 【文化伝承課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	単独で行うと新規のHP作成費用が多額になるため。